

平成元年 4 月

会 員 各 位 殿

(社) 日本O・R学会中国・四国支部

支部長 権 藤 元

昭和63年度中国・四国支部事業報告、収支決算並びに
平成元年度事業計画、収支予算送付の件

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当支部につきましては、日ごろ格別のご支援ご協力を賜わり厚くお礼
申し上げます。

さて、去る3月6日「昭和63年度定期総会」を開催し、標記につき
審議承認されましたので、ここに同書類を同封にてお届けいたします。

つきましては、なにとぞご高覧のうえ、今後一層のご協力、ご支援
の程お願い申し上げます。

敬 具

(社)日本O・R学会中国・四国支部 平成元年度支部総会次第

1. 開会の辞
2. 支部長挨拶
3. 昭和63年度事業報告
4. 昭和63年度決算報告
5. 監査報告
6. 平成元年度支部役員を選出
7. 平成元年度事業計画
8. 平成元年度予算計画
9. 1989年度春季研究発表会の件
10. その他
11. 閉会の辞

時：平成元年3月6日(月) 11：00～

於：中国電力(株)

(社)日本O・R学会中国・四国支部 昭和63年度事業報告

1. 総 会 1回

日 時：昭和63年4月22日(金) 11:00~12:00

場 所：中国電力(株)

議 題：昭和62年度事業・決算報告

昭和63年度支部役員選出

昭和63年度事業・予算計画

その他

2. 役 員 会 1回

日 時：昭和63年4月22日(金)

場 所：中国電力(株)

議 題：昭和63年度支部総会の件

3. 幹 事 会 4回

1回 日時：昭和63年3月18日(金)

場所：中国電力(株)

2回 日時：昭和63年4月22日(金)

場所：中国電力(株)

3回 日時：昭和63年12月9日(金)

場所：広島ガーデンパレス

4回 日時：平成元年2月21日(火)

場所：中国電力(株)

4. 講 演 会 4回 (定例講演会1回)

1回 日時：昭和63年6月17日(金) 14:00~16:00

会場：松山商科大学

演題：『表計算言語を用いたO・R手法とその実施例』

…マルチプラン、ロータス1・2・3などは、

意思決定に役に立つ…

講師：権 藤 元 氏 (近畿大学工学部)

- 2回 日時：昭和63年6月24日(金) 13:30~15:00
会場：中国電力株
演題：『組織知能工学のすすめ』
…〔OR/MS計画知能〕と〔システム監査と革新知能〕…
講師：松田武彦氏(産業能率大学)
(O・R学会定例講演会)
- 3回 日時：昭和63年7月28日(休) 13:30~15:00
会場：中国電力株
演題：『TQC推進におけるPDPC活用の役割』
…営業・開発・本社部門などの事例を通して…
講師：榊原康郎氏(品質創造研究所)
- 4回 日時：昭和63年11月25日(金) 13:30~15:00
会場：中国電力株
演題：『対話型多目的計画法』
…しなやかなシステムズアプローチの一方法…
講師：中山弘隆氏(甲南大学理学部)

5. 研究発表会 [エキスパートシステムによるO・R]

日時：平成元年2月9日(休) 9:15~17:00
会場：広島県立産業技術センター
演題・講師：別紙1参照

6. 研究部会

- (1) 対話型O・R研究部会
研究会 13回
- (2) エキスパート・システム研究部会
研究会 14回

7. 春季研究発表会実行委員会 5回

- 1回 日時：昭和63年4月22日(金)
場所：中国電力株
議題：1. 研究発表会開催マニュアルの紹介
2. 役割分担の決定
3. 開催準備日程表の確認
4. 次回の子定

- 2回 日時：昭和63年6月17日(金)
場所：松山商科大学
議題：1. 春季研究会開催準備について
2. 特別テーマについて
3. その他
- 3回 日時：昭和63年9月29日(木)
場所：上智大学
議題：1. これからのスケジュールについて
2. 発表募集要綱について
3. その他
- 4回 日時：昭和63年11月25日(金)
場所：中国電力(株)
議題：1. 予算について
2. 準備状況について
3. その他
- 5回 日時：平成元年2月22日(木)
場所：松山商科大学
議題：1. 一般発表について（特別テーマの取扱を含めて）
2. 特別講演について
3. 見学会について
4. 懇親会について
5. 4月号の原稿について
6. 今後のスケジュールについて
7. その他

以 上

(社)日本O・R学会中国・四国支部
昭和63年度支部会計決算報告書

1. 貸借対照表

平成元年2月28日現在

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	0	前 期 繰 越 金	327,543
預 金(1)	320,073	当 期 運 営 残 高	△7,470
合 計	320,073	合 計	320,073

(1) 広島銀行 広支店

2. 収支決算書

自 昭和63年3月1日
至 平成元年2月28日

科 目	予 算	決 算	備 考
(収入の部)			
本部交付金	357,000	375,000	定例講演会費含む
預金利息	500	953	
その他			
① 合 計	357,500	375,953	
(支出の部)			
会 議 費	50,000	2,000	
講 演 会 費	100,000	63,000	
研究懇談会費	50,000	0	
研究部会費	200,000	138,383	
見学会費	50,000	0	
通 信 費	50,000	87,340	
印 刷 費	50,000	25,000	
交 通 費	90,000	18,000	
事 務 費	40,000	48,500	
雑 費	43	1,200	
予 備 費	5,000	0	
② 合 計	685,043	383,423	
③ 当期運営残高		△7,470	① - ②
④ 前期繰越金		327,543	
⑤ 次期繰越金		320,073	③ + ④

(社)日本O・R学会中国・四国支部
平成元年度支部役員

(50音順)

支 部 長	権 藤	元	(近畿大学)	(留)
副 支 部 長	貝 川	健 一	(中国電力)	(留)
(3名)	梶 田	賢 作	(マツダ)	(留)
	広 瀬	圭 介	(川崎製鉄)	(留)
支部評議員	青 木	兼 一	(広島大学)	(留)
(10名)	石 田	徳 孝	(松山大学)	(再)
	尾 崎	俊 治	(広島大学)	(留)
	河 合	一	(鳥取大学)	(新)
	佐 藤	洋 一	(四国電力)	(留)
	住 山	哲 夫	(中国情報システムサービス)	(留)
	成 久	洋 之	(岡山理科大学)	(留)
	奥 村	寛	(川崎製鉄)	(新)
	浜 岡	尊	(広島電機大学)	(留)
	湊	晋 平	(松山大学)	(留)
支 部 監 事	玉 廣	靖 司	(中国電力)	(新)
(2名)	和 田	弘	(ダイセック)	(再)
支 部 幹 事	尾 崎	正 亮	(中国電力)	(留)
(14名)	海 生	直 人	(広島修道大学)	(再)
	門 田	博 隆	(四国電力)	(新)
	金 川	一 夫	(近畿大学)	(留)
	金 子	雅 彦	(川崎製鉄)	(留)
	金 指	正 和	(広島県立大学)	(新)
	神 川	正 博	(マツダ)	(再)
	久保田	洋 志	(広島工業大学)	(留)
	桑 原	兵 二 郎	(近畿大学)	(留)
	奈 良	宏 一	(広島大学)	(再)
	平 木	秀 作	(広島大学)	(留)
	松 富	達 夫	(近畿大学)	(留)
	光 藤	昇	(松山大学)	(留)
	山 田	茂	(広島大学)	(留)

(留) 留任 (再) 再任 (新) 新任

(社)日本O・R学会中国・四国支部 平成元年度事業計画

- | | | |
|-----------------|---------|-----|
| 1. 総 | 会 | 1 回 |
| 2. 役 | 員 会 | 若干回 |
| 3. 幹 | 事 会 | 若干回 |
| 4. 講 | 演 会 | 4 回 |
| 5. 研 | 究 発 表 会 | 3 回 |
| 6. 研 | 究 懇 談 会 | 2 回 |
| 7. 研 | 究 部 会 | 若干回 |
| 8. 春季研究発表会実行委員会 | | 若干回 |
| 9. 会 員 増 強 活 動 | | |
| 10. そ | の 他 | |

(社)日本O・R学会中国・四国支部
平成元年度支部収支予算

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
前期繰越金	320,073	会 議 費	50,000
本部交付金	375,000	講 演 会 費	100,000
預金利息	1,000	研究発表会費	30,000
		研究懇談会費	20,000
		研究部会費	200,000
		見学会費	50,000
		通 信 費	70,000
		印 刷 費	50,000
		交 通 費	90,000
		事 務 費	35,000
		雑 費	73
		予 備 費	1,000
合 計	696,073	合 計	696,073

(別紙1)

日本O・R学会中国・四国支部エキスパートシステム研究会
「エキスパートシステムによるO・R」

時 間	演 題	講 師
9:15	支部長挨拶	近畿大学工学部 権藤 元氏
9:15~10:10	AIの技術動向	富士通(株) 岸田 明氏
10:10~11:05	小型化成品プラントの生産計画に対する エキスパートシステムの適用と評価	出光石油化学(株) 久保田忠義氏
11:05~12:00	Advanced Go-Stop Systemの開発と 水島第四高炉への適用	川崎製鉄(株) 佐藤 政明氏
13:15~14:10	SHELLの拡張と知識編集について	マツダ(株) 渡辺 善仁氏
14:10~15:05	米国におけるエキスパートシステム事情	中国電力(株) 宇佐川雄士氏
15:05~16:00	エキスパートシステムの新しい展開とO・R	広島大学工学部 奈良 宏一氏
16:00~16:55	パネルディスカッション	講 師 全 員
16:55	エキスパートシステム研究部会長まとめ	広島大学工学部 青木 兼一氏

(別紙2) 対話型OR研究部会報告

月 日	テーマ		参加人数
3. 28	LPを用いた飼料配合システムの開発経過	三谷克之輔	10名
4. 22	計量モデル開発の流れとその苦勞 —開発各段階における問題点を克服したときの喜び—	松浦良紀	15名
5. 13	話題の清書システムTEXについて	海生直人	18名
6. 24	松田武彦先生を囲んで対話型ORをめぐる自由討議		19名
7. 28	PDPCをめぐる	榊原康朗	17名
8. 23	SMARTの紹介	竹中涉	9名
9. 22	スプレッドシートでORを始めよう (福岡で九州支部の方々と討議)	権藤 元	19名
10. 21	柱上変圧器の負荷予測	住山哲夫	14名
11. 11	意思決定部会と合同 1)合意形成のためのAHPの利用 2)AHPと対話型OR	高井英造 権藤 元	28名
11. 25	対話型計画法をめぐる	中山宏隆	16名
12. 27	ロータスによる各種OR手法の紹介	権藤 元	14名
1. 27	ロータスその他による回帰分析の事例紹介	綿岡英幸	17名
2. 21	分散型意志決定支援システムのユーザインターフェース	田中 厚	14名

(別紙3)

昭和63年度エキスパートシステム
研究部会報告

回数	開催月日	参加人数	内 容
1	6 / 3	12	マルチプロセッサ・スケジューリング問題とエキスパートシステム
2	6/10	14	
3	6/17	14	電力系統復旧問題とエキスパートシステム
4	6/24	14	
5	7/ 8	14	鋼材出荷計画問題とエキスパートシステム
6	7/22	12	人工知能における推論と分枝限定法
7	11/ 1	12	
8	11/ 8	12	OPS83 (1)・・・OPS83とは何か
9	11/22	12	OPS83 (2)・・・ワーキングメモリー
10	12/ 6	13	OPS83 (3)・・・ルール
11	12/20	14	OPS83 (4)・・・ルール型プログラミングの例
12	1/10	8	OPS83 (5)・推論エンジンをどう実現するか (1)
13	2/ 9	54	エキスパートシステムによるOR
14	2/14	10	OPS83 (6)・推論エンジンをどう実現するか (2)